



岡山 鏡野 SEA TO SUMMIT® 2019

10月12日(土)・13日(日)、「岡山 鏡野SEA TO SUMMIT2019」が開催され、全国各地から181人の選手が参加し、鏡野町の自然を満喫しました。

一昨年にスタートしてから3年目となるこのイベントは、海・里・山を人力のみで進む中で自然の循環に思いを巡らせ、かけがえのない自然について考えることを目的とした環境スポーツイベントで、環境シンポジウムとカヤック・自転車・登山を楽しむ野外活動が2日間の日程に分けて行われました。

12日(土)には上齋原文化センターヴァルトホールで、開会式と環境シンポジウムが行われ、株式会社モンベルと鏡野町との包括協定締結式や、11月7日のグランドオープン控え、今回のコースの一部にもなっている高清水トレイルの魅力についての座談会や、川崎医療福祉大学の益田芳樹特任教授による「自然と生き物」というテーマでの講演がありました。また、環境シンポジウム後は前夜祭が開催され、選手間で親睦を深めました。

13日(日)の野外活動では、奥津湖畔広場から高清水高原(標高950m:上齋原)の頂上までの総距離約33キロのコースを参加選手たちが、カヤック・自転車・登山の順で町内の色づき始めた山々の景色を楽しみながらゴールを目指しました。

ゴール地点では、選手としても参加された株式会社モンベルの辰野会長が特技の横笛を披露し、ゴールした人たちを祝福する場面も見られました。

